



一中だより

校訓 「自ら考え 自ら行い 自ら責任を」

豊中市立第一中学校
学校だより 第11号
令和3年(2021年)
9月28日
発行責任者 高橋武彦

ぼんじてってい へいぼん てっていてき 凡事徹底(平凡なことを徹底的に)



くつ うわば そろ ころ そろ ～靴や上履きを揃えと 心も揃う～

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、秋のお彼岸を過ぎ、秋風を感じる季節となりました。このところ朝晩には肌寒さを感じます。

さて、今年4月に生徒の皆さんに「凡事徹底」について話しましたが、覚えていますか。

凡事徹底とは「何でもない平凡なことを徹底的に行う」ということです。「挨拶」「掃除」「時間を守る」「靴や上履きを揃える」など、当たり前前のことを当たり前前

一つ一つの積み重ねは、時間が経つと大きな違いを生み出すことにつながります。

右の写真はあるクラスの下校後の靴箱の様子です。どうか靴箱の上の段に上履きがきっちり入っているのかわかると思います。実はこの靴箱は4月中頃に撮影したものです。今も多くの生徒の皆さんはきっちり靴・上履きを入れていますが、少し乱れが出て



いるのが現実です。皆さんは登校後、履いてきた靴を靴箱に入れ、一日の終わりに上履きを靴箱に入れて下校していますね。

この靴を出し入れする行動は、ある人にとっては、日々の何気ないことであるかもしれませんが、あるいは別の人のためには、どうしてもいい取るに足らないことかもしれません。

しかし、この何気ないことや取るに足らないことをきっちりやり切れるかどうかがとても大事だと思います。些細なことですが、その人の真価が問われるように思うのです。

皆さんの中には、靴を揃えることを面倒なことだと思っている人がいるかもしれませんが、実は「面倒なこと」は「試されごと」だと私は思います。面倒なことが目の前に現れたら、「自分が試されているんだ」と私はできる限り思うようにしています(まだまだそう思えないことが多々ありますが...)。面倒なことでも喜んでやる人と面倒なことはやらない人・適当にやる人とは、人生が大きく変わってくると思います。

皆さん、「靴や上履きを揃える」という平凡なことを徹底してやってみましょう。

★★★靴・履き物を揃えるコツ：「靴の踵をそろえること」★★★

さくねん いっちゅう けいさい ねんせい ねんせい おぼ ひと おも
 昨年「一中だより」に掲載しましたので3年生と2年生は覚えている人がいると思いますが、
 ながのけん えんぶくじ てら じゅうしよく ふじもとこうぼう し
 長野県にある圓福寺という寺で住職をされていた藤本幸邦さんの詩「はきものをそろえる」を
 しょうかい みな こころ とど しん
 紹介します。きっと皆さんの心に届くものと信じます。

「はきものをそろえる」 藤本幸邦

はきものをそろえると 心もそろろう
 心がそろうと はきものもそろろう
 ぬぐどきに そろえておくと はくどきに 心がみだれない
 だれかが みだしておいたら だまって そろえておいてあげよう
 そうすればきっと 世界中の人のこころも そろうでしょう

いっちゅう こもん せんせい ぬ くつ そろ しろ はし
 一中のあるクラブ顧問の先生は「脱いだ靴をきちんと揃えること」と「かばんを揃えて端
 に置くこと」をととても大事にされています。その先生がこんなことをおっしゃっていました。

『脱いだ靴やかばんをきちんと揃えるのは、自分のためでありますが、他の人のことを考えることに
 つながります。自分の持ち物をきちんと管理することは、自分たちが使う道具を大事にすることと同
 じです。靴やかばんを揃えて端に置くのは、あとからそこを通る人に気持ち良く通ってもらうためです。
 うちのクラブでは子どもたちが先輩から後輩に、代々このことを伝えていきます』

かれん くさばな あき かん
 ■可憐な草花に秋を感じます

いっちゅう くさばな げんき せいちょう くれん はな さ
 一中の草花は元気に生長し、とても可憐な花を咲かせて
 きますもん わき くだん さ ひやくにちそう
 います。北門の脇にある花壇で咲く百日草やオレンジコ
 スモス、体育館前の花壇で咲くハイビスカスやマリーゴ
 ールド、ペチュニアなど、たくさんの草花は今が見ごろで
 きますもん わき くだん
 す。北門の脇にある花壇にはコキアが元気に育っています。
 わめい まる かわい かつち
 和名を「ハウキグサ」と言い、丸みのある可愛らしい形が
 とくちょう なつ みどりいろ すこ こうよう はし
 特徴です。夏の緑色から少しずつ紅葉し始めています。



↑体育館前の花壇 今が見ごろの草花

ある女性の方とその方のお母さまが日課の散歩で一中の花壇を見るのを楽しみにされているとのことで
 した。「日々生長するお花を見るのが楽しみです」「遠回りになるけど、学校の前を通ってお花を見るのを楽
 しみにしています」とその方から用務の先生が声をかけてもらっています。

道行く地域の男性の方が「(こぼれ種からポツリと咲いている花を見ながら)毎日、この花を見て、頑張
 れ、と応援している
 ですよ」と話をされ
 ていた、ともお聞きし
 ました。

コロナ禍で大変な
 ときですが、可憐な
 くさばな み こころ
 草花を見て、心
 やす ととき す
 安らぐひと時を過
 ぎたいですね。



↑北門の脇の花壇 紅葉が始まっているコキア



↑コキアの隣で生長する風船唐綿